

2025 年度

一般財団法人 林業経済研究所研究奨励事業（小瀧奨励金）助成対象者の決定について
研究奨励委員会委員長 古井戸 宏通

当研究所の 2025 年度研究奨励事業について、多数のご応募をいただきありがとうございました。5 月 1 日に研究奨励委員会を開催し、清水浩貴氏（鹿児島大学大学院農林水産学研究科修士課程）の「焙乾用広葉樹薪の生産流通構造の実態」を採択しました。採択理由は、研究の着眼点が大変興味深く社会的ニーズに適合しており、新規性があり、準備状況も良好で、研究の目的・方法のいずれにおいても、候補者自身のこれまでの研究を深化させることで、林業経済研究分野において活躍することが期待できると考えたからです。

惜しくも採択に至らなかったその他の応募課題については、内容的な興味深さと本事業への適合性、準備状況、学術的な新規性（先行研究との関連）、実行可能性（調査の実現性）、目的と手法の対応等のいずれかにおいて、かなり充実した記述がありつつ、総合的に見て一歩及ばなかった、といった意見が出されたところです。

採択された清水氏はもちろん、他の応募者の方々におかれても、ご自身の研究を深めていただければ念じています。

《編集後記》

森林系の某学会の歴代会長名が知りたく、検索サイトで検索をかけた。すると、検索結果より前に、AI による回答が出る。ところがその回答がまるでフェイクなのだ。さも正解のように AI が出してきたのは、日本森林学会の歴代会長名であって、私が知りたかった某専門学会のものではなかった。森林学会の会員である私はその回答がフェイクであることが瞬時にわかったが、そうでない一般の方がこの検索をした場合、その回答がフェイクかどうかをすぐに判断することは難しく、他の資料で裏付け調査をする余裕や意志がない場合、そのフェイク情報を正しい情報と信じ、さらに拡散させてしまうことが十分考えられた。

AI を持ち出すまでもなく、フェイクは社会に溢れ

ている。正当性の権化であるべき国家の指導者が、見え見えのフェイクを垂れ流し、しかもそのフェイクを信じ、彼を信奉する国民が半分以上いるのが超大国の実態であるわけで、事態は相当深刻だ。地動説や進化論を持ち出すまでもなく、そもそも科学自体が、常に正当とフェイクの狭間に存在してきたわけだが、ここで重要なのは、「事実」を解釈し、判断する際の多様性を確保できるかどうかである。この小説を含むメディアは、フェイクを増幅する側にも、多様性を担保する側にも回ることができる立場にある。そのことを自覚し、後者に立つべく自戒することが改めて求められている。

（土屋）

研究所業務日誌（2025 年 5 月）

5 月 1 日 研究奨励委員会
第 1 回運営会議
5 月 7 日 監査
5 月 12 日 第 1 回理事会
5 月 20 日 『林業経済』5 月号校了

5 月 20 ~ 21 日 森林所有者による「森林サービス産業」推進事業第 2 回現地検討会
5 月 23 日 2025 年度「緑の雇用」事業の評価に関する調査検討委員会

林業経済（月刊）

〈禁無断転載〉

定価 880 円
(本体価格 800 円)

編集発行人 永田 信

発行所 一般財団法人 林業経済研究所

〒 113-0034 東京都文京区湯島 1-12-6 高闘ビル 3A

電話 03-6379-5015 FAX 03-6379-3210

E-mail : office@foeri.org URL : <http://www.foeri.org/>

☆本誌は予約購読を原則とします。購読ご希望の方は直接、当研究所までお申し込みください。

1 年 10,560 円（送料共）（本体 9,600 円、消費税 960 円）

学生および院生は 1 年 5,500 円（本体 5,000 円、消費税 500 円）になります。

購読料の振込先

口座名義人：一般財団法人 林業経済研究所

銀行の場合：三菱 UFJ 銀行 秋葉原支店

普通預金口座 4560904

郵便局の場合：振替口座 00110-1-147629

印刷 株式会社ソウブン・ドットコム 東京都荒川区西尾久 7-12-16